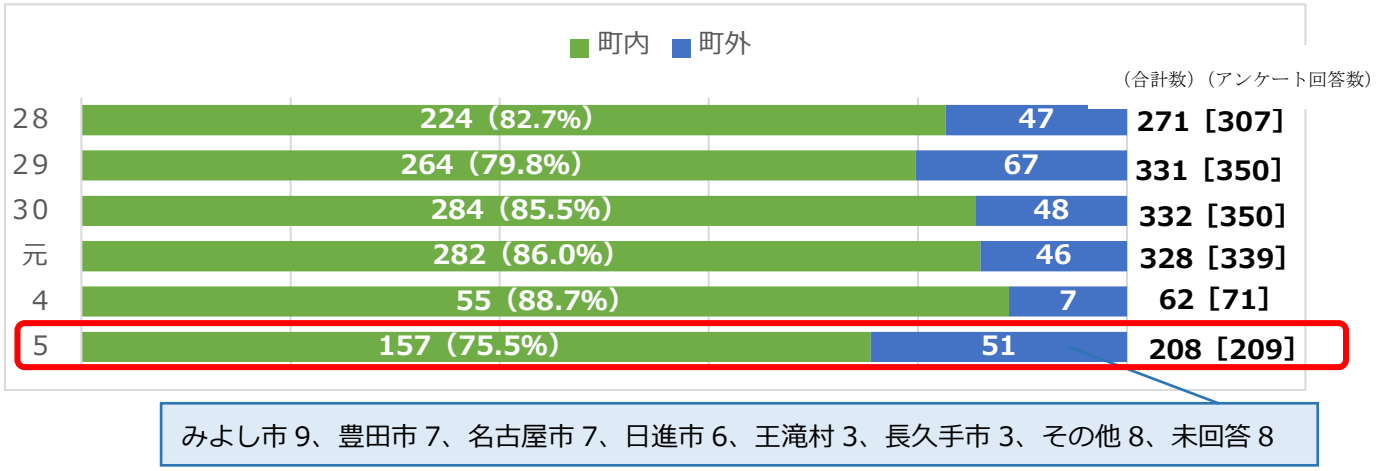
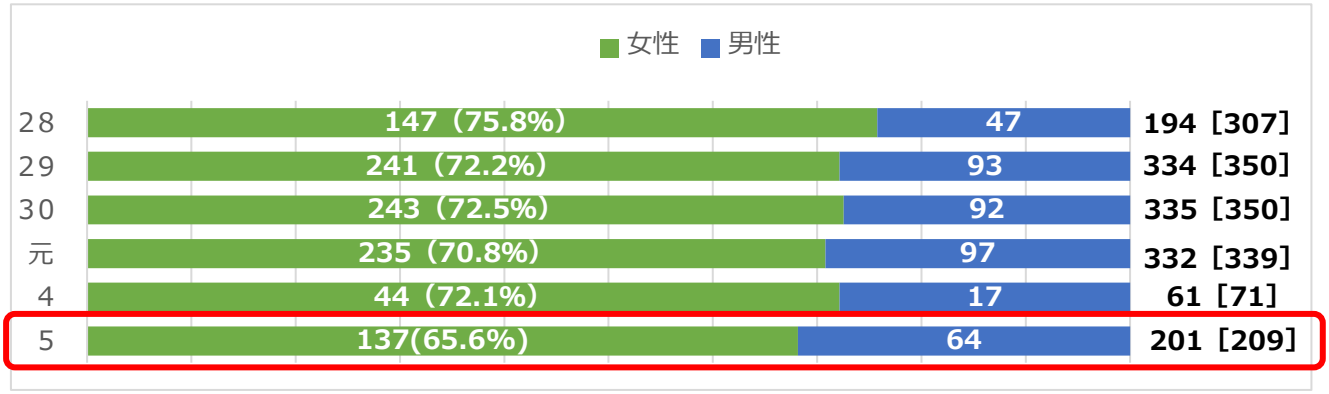
資料２

文化産業まつり　アンケート結果

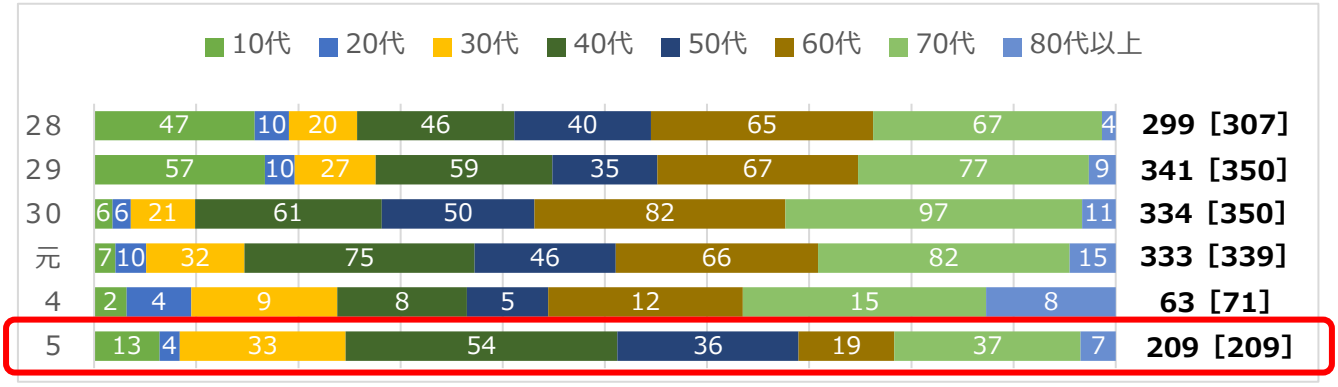
１）住まい



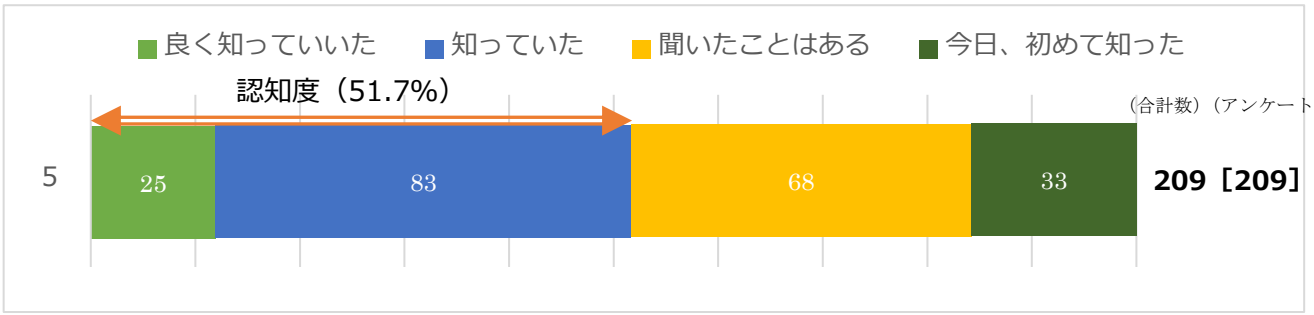
２）性別



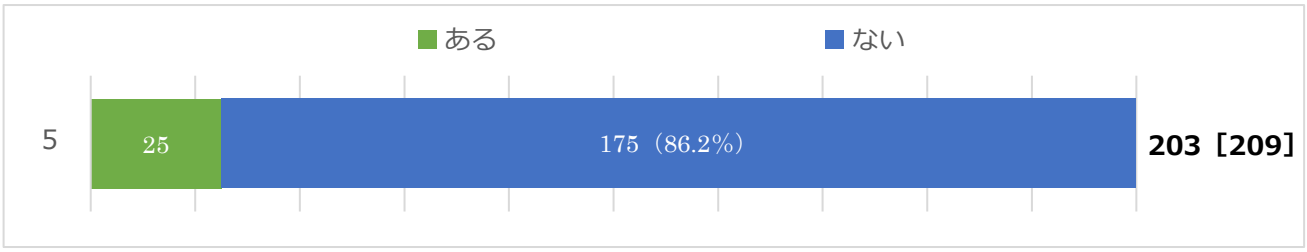
３）年代



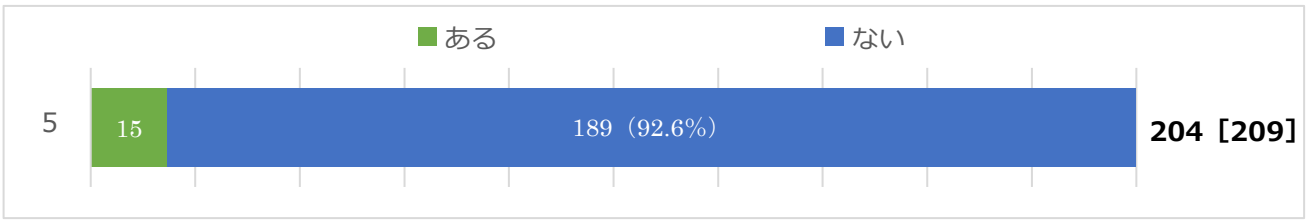
4）「男女共同参画」ということばを知っていたか。



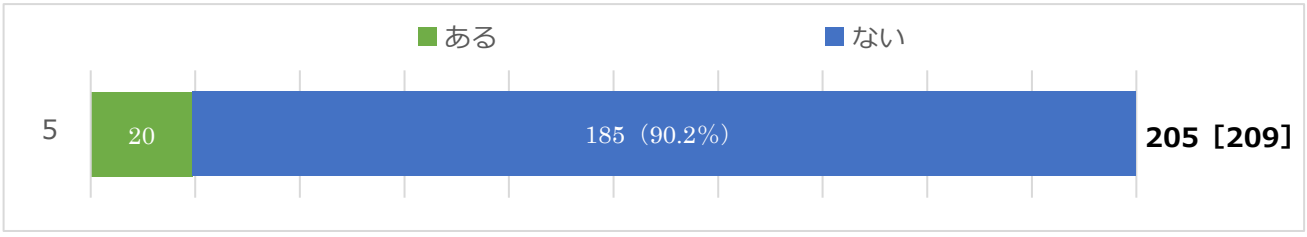
5）「映画会」に参加したことがある。



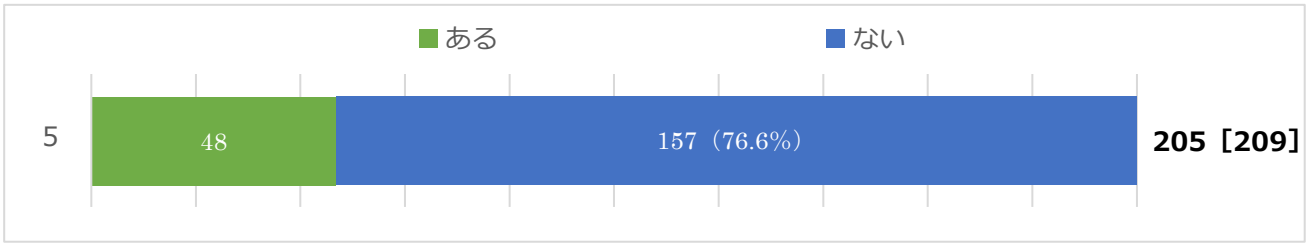
6）「男女共同参画情報コーナー」を利用したことがある。



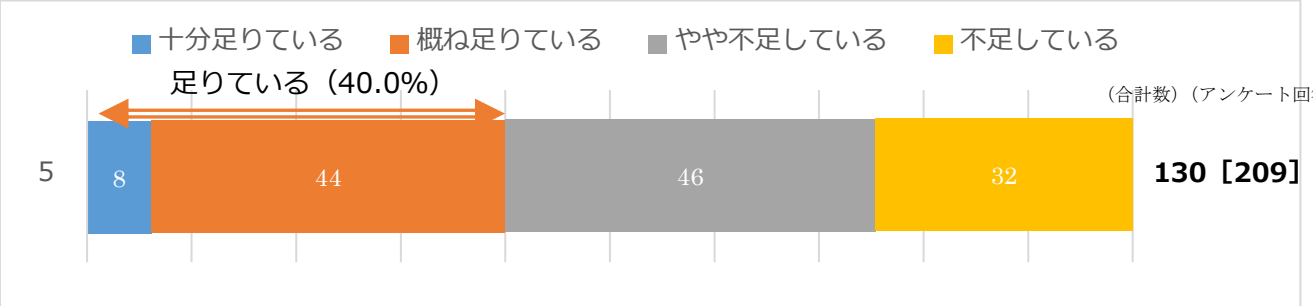
7）男女共同参画誌「イーストピア」を読んだことがある。



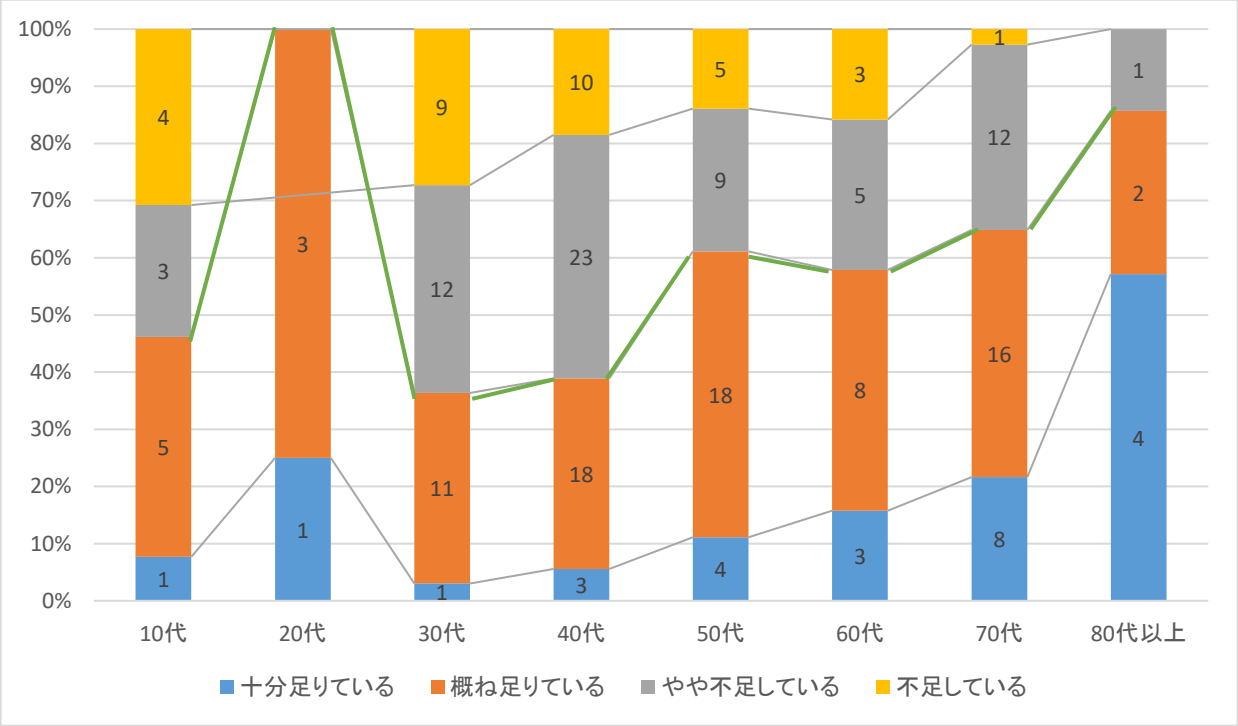
8）男女共同参画パネル展を観覧したことがある。



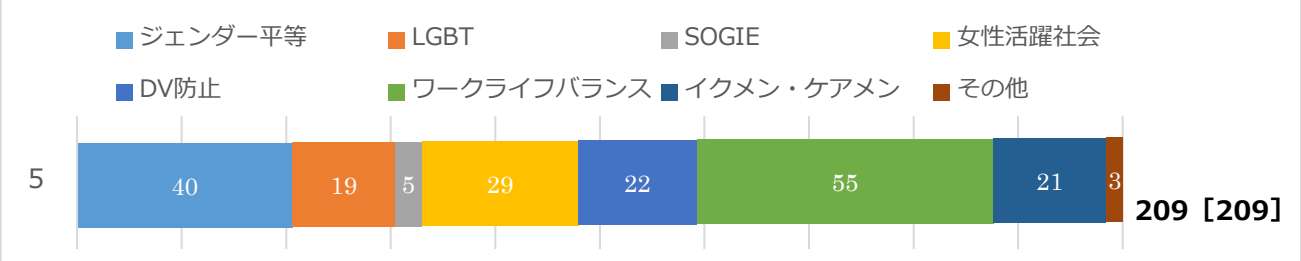
９）男女共同参画に関する情報や知識を得る機会として、どの程度足りていますか。



（参考１）「年代別」×「情報や知識を得る機会」



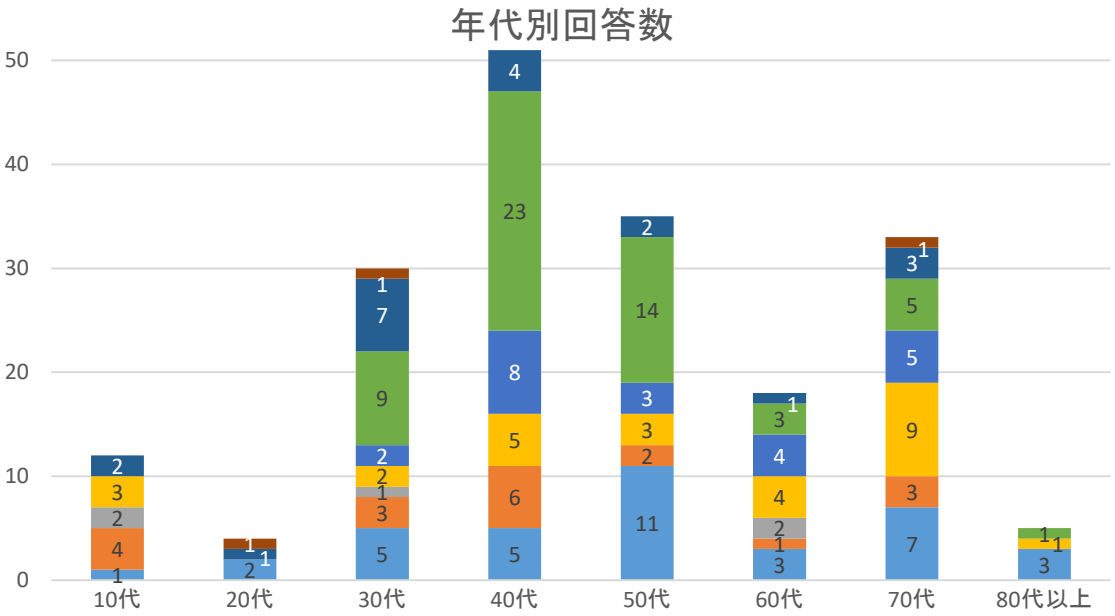
１０）関心



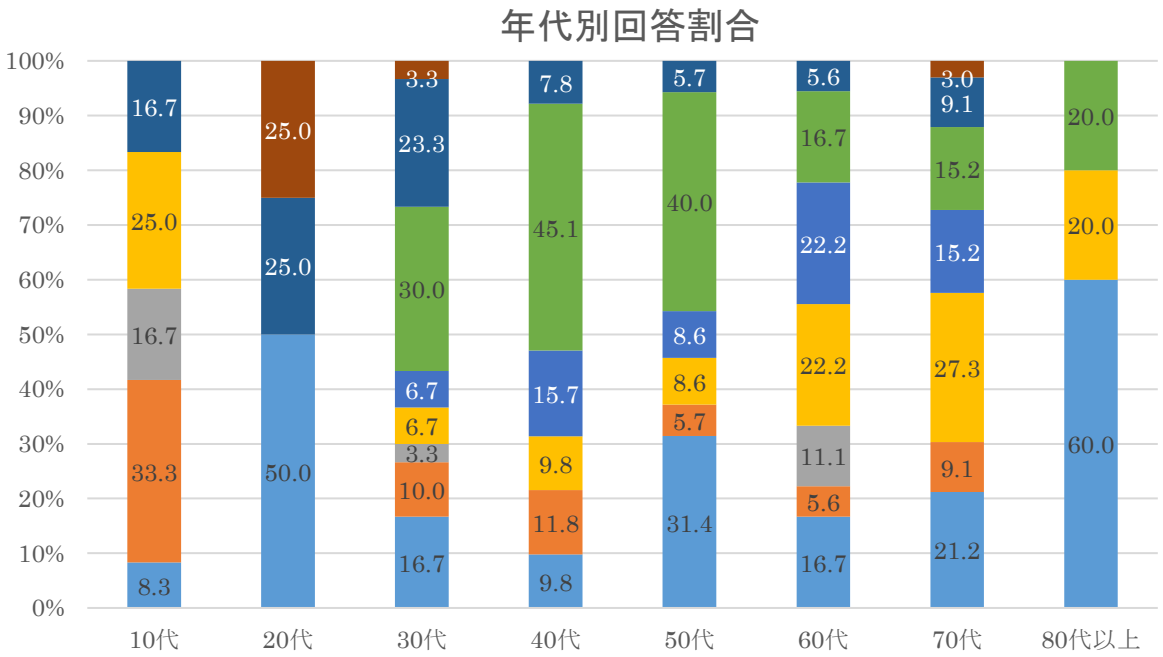
その他回答（回答数：1）（原文どおりに記載しています。）

・LGBT とかジェンダー平等とかどうでもいい（20 代男性）

（参考 2）「年代別」×「関心のある分野」



	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上
その他		1	1				1	
イクメン・ケアメン	2	1	7	4	2	1	3	
ワークライフバランス			9	23	14	3	5	1
DV防止			2	8	3	4	5	
女性活躍社会	3		2	5	3	4	9	1
SOGIE	2		1			2		
LGBT	4		3	6	2	1	3	
ジェンダー平等	1	2	5	5	11	3	7	3



・ジェンダー平等は全年代で関心がある
・ワークライフバランスは 30～50 代で 30%以上の関心がある
・女性活躍社会は 60 代以上と 10 代で 20%以上の関心がある
・10 代は性の多様性に関する（LGBT 及び SOGIE）関心が 50%ある

11）町が男女共同参画社会になっていくには、どのようなことをしたらいいと思いますか。

（回答数：43）（原文どおりに記載しています。）

町が男女共同参画社会になっていくには、どのようなことをしたらいいと思いますか。	性別	年代
共働きや男性が育児をしている家庭にえんじょ	1.男	10
男女共に協力して何かを行う行事をやれば良いと思いました	1.男	10
このしごとは女のやることなどきめつけない	1.男	10
男女関係なく過ごせること	1.男	10
偏見なし	2.女	10
情報を身近に感じれる環境	2.女	10
偏見をなくそう運動みたい	2.女	10
学校で学べる授業をする	2.女	10
地域の事業所等で講演を行ってみては如何でしょうか。	1.男	20
なんにも分かんない	1.男	20
著名人の講演など	2.女	20
身近な具体例	1.男	30
LGBTQ+の当事者の講演会	1.男	30
男性・女性が育児・介護・他の理由などでも短時間勤務など勤務時間を自由に変更できるようになるとよいです。	2.女	30
子供の頃から学校などで共有していく	2.女	30
知識がないので、気軽に参加できるような催しがあるといいなと思います。	2.女	30
1 人 1 人が意識をする	2.女	30
男性・女性がそれぞれの権利や役割的なものを主張しすぎると共同参画にならないので別の性になって考えてみることが必要かと思います。	1.男	40
先が広くみんなに知ってもらうための広告	1.男	40
今日のようなイベントでのブース、広報	1.男	40
小中学校で教えたりする	1.男	40
有名な方やユーチューバーの方に広めてもらう	2.女	40
初めて知ったのでよく分かりません	2.女	40
男女差別という言葉を多用しない　足りない所は支え合う思いやりの精神が一番だと思います。	2.女	40
思いつかない　イベントで展示	2.女	40
PTA　子供会　男性の参加	2.女	40
学校での授業	2.女	40
子供だけでなく、大人にも中長期的にその考えに触れ考える機会の創出	2.女	40
女性トイレで並んでいる。女性も男性同じくらい手軽にトイレできればもっと有意義に生きてもらえると思うのでトイレをふやすべき	1.男	50

男女、きがるに参画できる社会	1.男	50
公告・チラシ等	1.男	50
子供を預け、働きやすい環境作り。時間を長くするなど。	1.男	50
思いつかないです。	2.女	50
すぐに思いつきませんが役場・いこまい館などに寄った人に意識してもらえるポスターや活動の記録（東郷町の）を貼ったり、コーナーを作ってみてもらえるようにするとよいかと思います。	2.女	50
当事者の方の講演会	2.女	50
みんなで取り組みましょう	2.女	60
人への尊厳	2.女	60
特に考えつかないが、行事に関連して講演会を行う	1.男	70
性別でなく人間どおしでもの事を考えたいと思います	2.女	70
本当に男性女性の欲していることがずれている。	2.女	70
参加しやすいと良いと思う	2.女	70
わからない	2.女	80以上
アニメ映画	3.回答なし	回答なし